



～義務教育学校設立準備委員会ニュース～

3校合同スマイル遠足 開催！！

江山中学校区では、小中一貫教育の取り組みを推進していますが、その一環として、5月29日（水）に美和小学校・神戸小学校・江山中学校3校の合同遠足が布勢のとっとり出会いの森で行われました。

当日は、天候が心配されましたが、雨間の一日、しかも快晴という正に子どもたちの活動を天が応援してくれるなか、緑の芝の絨毯のうえで全校児童生徒がふれあいました。来年4月の江山学園設立に向けて仲間意識の向上や自治力の育成が進んでいます。



広場では、中学校の生徒会が中心となって集団ゲームをしたり、グループ活動をしたりしました。普段とは違う大人数、しかも9学年という年齢差がある中での活動でしたが、ただ単に楽しんだというだけでなく、小中一貫校のメリットである中学生の模範行動のモデル化を目の当たりにした瞬間でした。

今後は、神戸小学校と美和小学校の同学年による交流学习や3校による夢イベント等が行われます。



経過報告 制服の検討が始まりました！



前回、発足のお知らせした制服検討委員会ですが、いよいよ具体的な議論が始まりました。現在までの決定事項についてお知らせします。

○主な内容

- ・制服の導入時期については、開校時から一斉に変えるのか、移行期間をもうけるのかアンケートしたい。
- ・制服の取り扱い業者を招いて説明会を行う。
- ・説明会を経て、各家庭にアンケートを実施する。

○説明会について

◆日時 9月14日（土）14時～15時、9月18日（水）19時半～20時半

◆場所 大和地区公民館 2階

◆参加対象者

来年度江山学園の保護者となられる方、地域住民の方

◆主な内容

制服の意義や、どのようなパターンが考えられるか等についてに説明があります。費用面についてもお話があると思います。質疑の時間も設けたいと思いますので、たくさんの方の参加をお願いしたいと思います。

制服は何年生から着るの??
セーラー服かな?ブレザーかな?

当日の様子や、質疑の内容等については次号にてお知らせします。

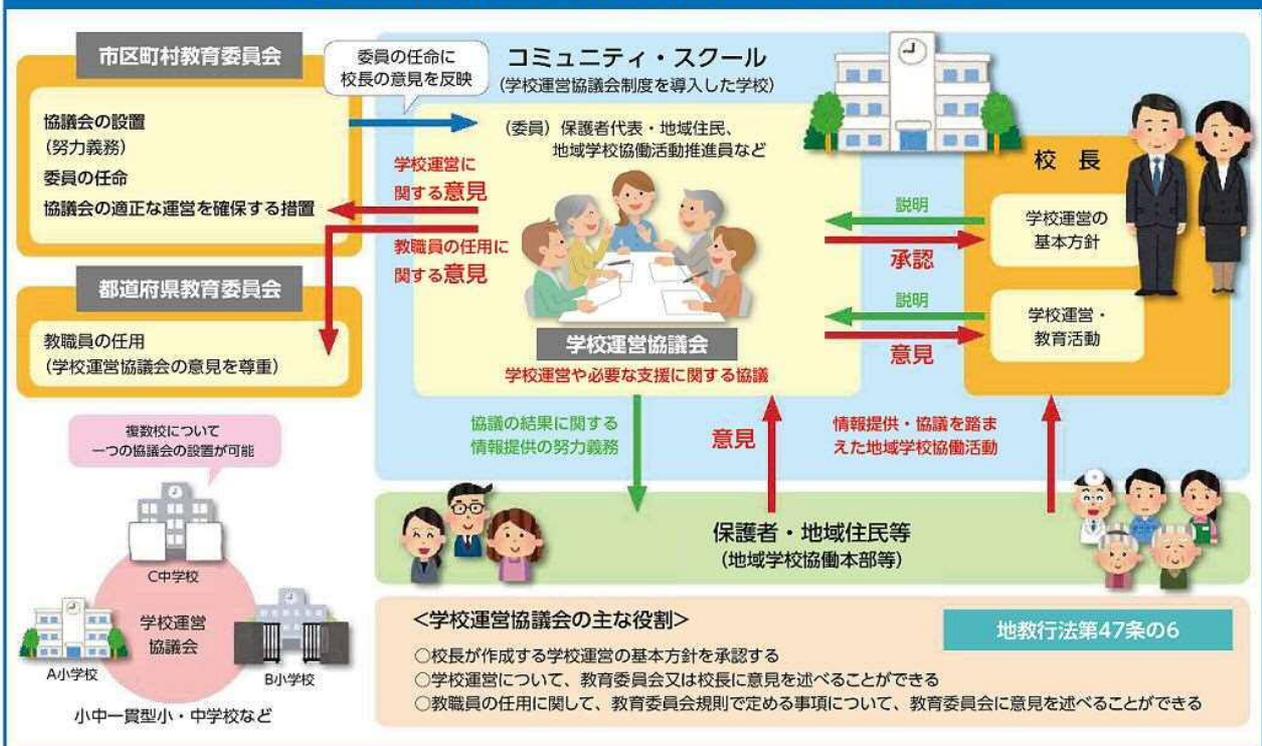


連載 ～コミュニティ・スクールってなあに？～

江山学園の設立に関して議論する中で、耳慣れない言葉に出会うことがたびたびですね。これをよい機会として、最新の教育について少し学んでみたいと思います。このコラムでは国・県・市が設立を推奨している「コミュニティ・スクール」について連載していこうと思います。

コミュニティ・スクールは「学校運営協議会制度」を取り入れた学校のことです。学校運営協議会では学校と保護者と地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みのことです。この仕組みは「江山学園」がめざしている学校づくりと合致するものと考えます。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の仕組み



コミュニティ・スクール2018 ～地域とともにある学校づくりを目指して～より

上の図にもあります通り、法律上は、運営協議会の主な機能として、次の3つがあります。

- ①校長が作成する学校運営（教育課程・組織編制・学校予算・施設管理）の基本方針を承認する（必須）
- ②学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べるができる（任意）
- ③教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる（任意）

それぞれについて、次回詳しく学んでみたいと思いますが、この制度をうまく活用するためには、ただ単に意見を述べるだけでなく改善に積極的に関わることが必要です。

学校に出かけ子どもたちと積極的に関わり、子どもたちや地域の課題を把握し、その解決に向けた取り組みを協働して行うことがポイントです。「江山の宝応援部会」で立ち上げを検討しています。

発行：江山地区義務教育学校設立準備委員会
事務局：鳥取市教育委員会事務局校区審議室
TEL:(0857)20-3089
E-mail:kokushingi@city.tottori.lg.jp